投稿規定

投稿資格：投稿者は、本院職員及び連絡会の認める者とする。

投稿の種類・内容：本誌には原則として、原著（他雑誌未掲載のもの）、短報、CPCの記録、学会発表、院内研究の業績及び統計・経理を掲載する。用語は、和文または英文とする。

投稿の仕方：**原稿1部とコピー1部**（図表を含めて）を提出する。紙の原稿とともに、現行の内容を記録した**Microsoft Office Word. Excel 又は PowerPoint のファイル**を提出すること。

執筆要領（原著論文）：原稿の各ページに**通し番号**を付し、**1枚目**に和文表題、英文表題、著者名、所属、キーワード、1ページ文字数を、**2枚目**に和文要旨を記載し、**3枚目**から本文、**参考文献、英文要旨**を順次記載し、図表・写真を別に添付する。和文の句読点は「、。」に統一する。

①**原　稿**：原則として**8000字以内、図表10枚以内**とする。原稿はA4版で作成する。

②**表題、著者名、所属**：和文表題には、英文表記も併記することが望ましい。

所属、氏名の記載例　磐田市立総合病院内科[1]，同外科[2]，浜松医科大学第1外科[3]
寺田　○○[1]　古谷　○○[1]　北村　○○[2]　鈴木　○○[2]
吉田　○○[3]

③**キーワード**：日本語又は英語で3語以内。

④**要　旨**：英文（200語以内）が望ましい。英文要旨のタイトルはAbstractとする。和文の場合は400字以内。

⑤**本　文**：原著では、**「はじめに、対象と方法、結果、考察、結語」**、症例報告は、**「はじめに、症例、考察、結語」**の見出しをつける。

⑥**参考文献**：**「参考文献」**の記載は引用順とし、本文中の引用箇所に順次に**右肩番号を付す**こと。
例：1)　2,3)　1～5)
著者名は3名まで記載し、4名以降は「他」、「et al」とする。引用文献は20前後とする。

〈雑誌の場合〉
文献番号) 著者名：論文表題. 雑誌名（略称で）巻数：初頁～終頁, 発行年（西暦）

例1）Burk JS, Butler JJ: Malignant lymphoma with a high content of epithelioid histiocytes(Lennert's lymphoma). Am J Clin Pathol 66: 1-9, 1976.

例2）佐藤久芳、野水　整、二瓶光博、他：消化管平滑筋芽細胞腫の2例　－本邦報告218例の検討－. 日臨外会誌48：2036-2040, 1985.

〈単行本の場合〉
文献番号）著者名：論文（または章）表題. 書籍名、巻（又は版数）、出版社名、発行地、初頁～終頁、発行年（西暦）

例3）McCaugh WTE, Kannerstein M, Churg J, et al: Tumors and pseudotmors of the serous membranes. Atlas of Tumor Pathology, 2nd series, Armed Forces Institute of Palhology, Washington DC, 20-72, 1985.

例4）杉村　隆：分化異常としての癌細胞の理解・癌（東京大学医科学研究所学友会編）、文光堂，東京，17-32，1975.

⑦**図表とその表題**：
図表・写真は原則としてモノクローム（白黒）とし、**図○、表○として一連番号**を付け、各々に**タイトル**（必要なら説明文も）を付ける。写真は手札型（13cm×9cm）の大きさにプリントしてデジタルデータとともに提出する。

その他：①原稿の採否ならびに掲載順序は、連絡会が決定する。各部署のレビューアーを連絡会が指名する。
②校正は原則として著者が行う。著者校正は1回とする。最終の校正を連絡会が行う。
③原著の著者には別刷を20部まで提供する。それを超える部数を希望する場合は、50部単位で連絡会を通じ有料で印刷業者に依頼できる。
④業績、統計資料は発行前年度のものに限る。
⑤原稿は返却されない。

その他詳細は、連絡会にお問い合わせください。

2022年11月　磐田市立総合病院病院誌連絡会

Presented by Medical*Online